

# 基本方針の策定にあたって

## 1 埋蔵文化財展示室更新の目的

展示室はこれまで、収蔵物を公開する企画展示、体験コーナーなど普及啓発事業の中心として、多くの市民に利用されてきています。しかし、開館から20年近くが経過し、施設の老朽化とともに、展示内容の旧態化も目立ってきていることから、近年の埋蔵文化財の調査成果を活かした展示室の全面的更新が求められています。

また、「札幌市アイヌ施策推進計画」では、埋蔵文化財センター展示室の展示内容の見直しが盛り込まれています（「札幌市埋蔵文化財センターの展示室を改装する際に、市内で発掘調査された埋蔵文化財をもとに、アイヌ民族の歴史を尊重する立場から展示内容を見直します」—『札幌市アイヌ施策推進計画』（平成22年9月）より）。

## 2 埋蔵文化財展示室更新事業の位置付け

### 第3次札幌新まちづくり計画

【政策目標5】 市民が創る自治と文化の街

〔重点課題2〕

『多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しみ健康づくりを推進するまちづくり』



### 観光文化局実施プラン

局の運営方針

「優れた文化遺産や自然遺産を適正に保存し、伝承していくとともに、  
集客交流資源として積極的に活用する」

まちづくりの施策〔重点施策2〕

『札幌の特色を活かした文化芸術の振興』

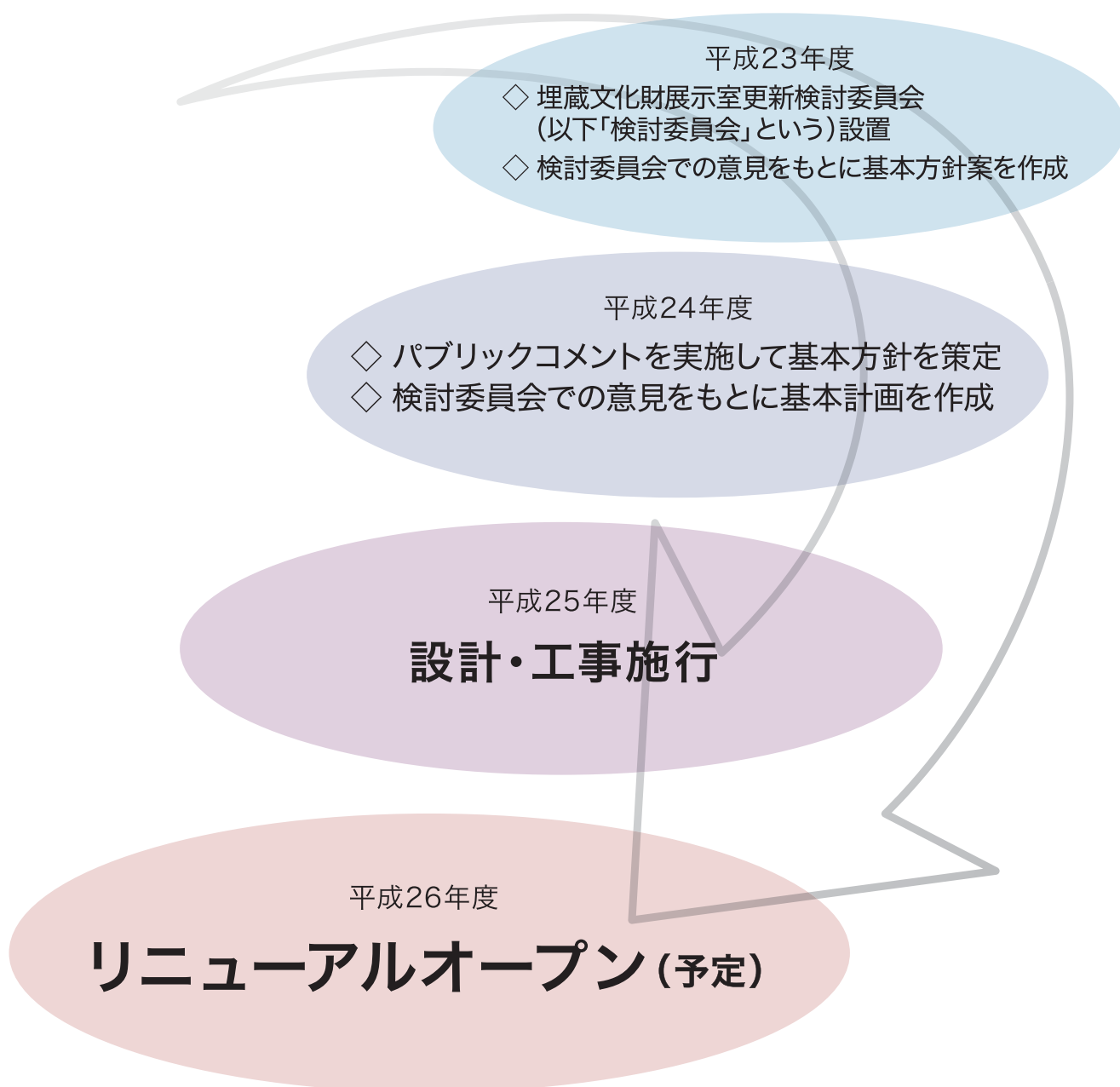


【埋蔵文化財センター展示室更新事業】基本方針

本事業は、「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」に掲げる「まちづくりの基本的な方向」を実行に移すためのプランとして、長期総合計画の方向性を踏まえながら、優先的・重点的に実施する施策・事業を定める「第3次札幌新まちづくり計画(計画期間:平成23年～平成26年)」において、政策目標「市民が創る自治と文化の街」、重点課題「多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり」に位置付けられたものです。

また、平成23年度の観光文化局実施プランでは、「優れた文化遺産や自然遺産を適正に保存し、伝承していくとともに、集客交流資源として積極的に活用する」ことを運営方針としており、札幌の特色を活かした文化芸術の振興という視点から、埋蔵文化財センター展示室更新事業にかかる基本方針策定を、重点取組項目の施策のひとつとしています。

### 3 基本方針の策定から展示室更新までの流れ



## 4 検討委員会の設置

埋蔵文化財展示室更新事業を進めるにあたっては、これからの埋蔵文化財展示室のあり方を軸とした基本方針をまとめるために、考古学などの専門分野における学識経験者や学校教育等における有識者などから意見を聴取することを目的として、検討委員会を設置することとしました。

### <「埋蔵文化財展示室更新検討委員会」委員構成>

座長	越田 賢一郎	札幌国際大学 教授
副座長	川名 広文	札幌大学 教授
委員	阿部 一司 右代 啓視 加藤 博文 小杉 康 古原 敏弘 平間 吉春 深澤 百合子	社団法人 北海道アイヌ協会 札幌支部長 北海道開拓記念館 企画調整課長 北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授 北海道大学大学院 教授 北海道立アイヌ民族文化研究センター 研究主幹 元北海道退職校長会 会長 東北大学大学院 教授

## 5 検討経過

**第1回 検討委員会** 議題1：委員会の進め方について  
議題2：展示室の現状について

**第2回 検討委員会** 議題1：展示室に求められる役割・機能  
議題2：最近の展示手法の紹介  
議題3：北海道内の類似施設の紹介  
議題4：埋蔵文化財展示室更新案について

**第3回 検討委員会** 議題1：第2回検討委員会議事内容の確認  
議題2：埋蔵文化財展示室更新基本方針案について

**第4回 検討委員会** 議題1：埋蔵文化財展示室更新基本方針案の取りまとめ  
議題2：平成24年度検討委員会について